

農村整備係 業務

農村整備係では、農業用ため池の整備、農道施設の強化対策を行っています。

【地域資源を活かした農村づくり】

1 農業用ため池の防災・減災対策の強化

<現状と課題>

・恵那管内には1,281箇所の農業用ため池があり、営農に必要な農業用水の確保や洪水調節による防災機能など大きな役割を果たしています。近年、全国的に大規模地震や豪雨等により多くのため池が被災し、他県では決壊等により下流域の農地や家屋などに大きな被害が発生しています。

<対策>

・耐震診断により早急に対策が必要と判断されるため池について、計画的な整備を進めています。

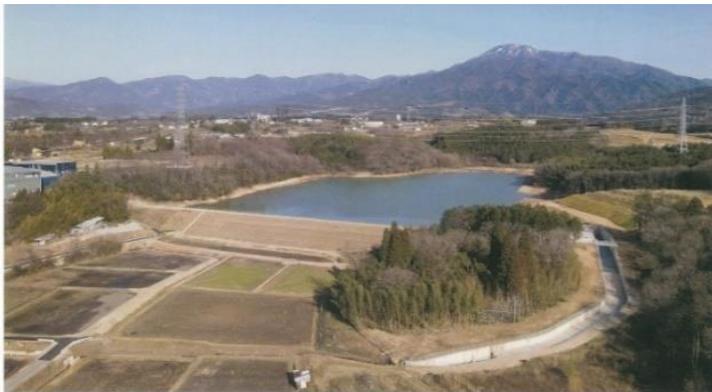
● 県営ため池等整備事業

<内容>

・令和6年度は11地区(中津川1期(新溜)、浮沼、打杭、姥ヶ洞、加子母防災、松本、小沢、小池第1、新溜池、惣平衛、石田第1)でため池10箇所と防災ダム1箇所の改修を実施しています。

<効果>

・下流域の農地や農業用施設、公共施設等の被害リスクを軽減します。



令和2年度完了
中津川1期地区 旧溜池
(中津川市千旦林)

・利用されないため池について廃止工事を実施することで、下流域の安全を確保します。



令和3年度完了
足沢ため池の廃止(中津川市千旦林)

2 災害に強く、力強い農業農村を支える農道橋の耐震対策

<現状と課題>

・恵那管内では中山間地域の特性を活かした広域的な農業が展開されており、効率的な農産物輸送を図るための基幹的農道の整備が進められてきました。しかし、設計年度が古く、耐震性が低いため大規模地震の際に交通の支障を来すと危惧される橋梁が存在しています。

<対策>

・県の緊急輸送路ネットワークに設定または接続する農道にある5橋の耐震対策を進めています。
(令和5年度末時点で3橋が実施済み、残り2橋を実施中)

● 県営農道施設強化対策事業

<内容>

・橋梁耐震対策(落橋防止装置の設置、橋脚補強)や橋梁補修工(舗装打換など)を実施します。
・令和6年度は、若宮大橋(中津川市付知町地内)と柏原川橋(中津川市福岡地内)の耐震補強を行っています。

<効果>

・農産物輸送の効果はもとより、住民の生活道路として利用されており、地域活性化や暮らしの安心、安全な交通ネットワークの強化に繋がります。



落橋防止装置 夜明け大橋
(中津川市落合)



橋脚補強(コンクリート巻立) 若宮大橋
(中津川市付知町)